

式 辞

本日、保護者のみなさまのご臨席のもと、島根県立江津高等学校第六一回卒業証書授与式を挙げていただきましたことを嬉しく思っております。感染拡大防止の観点から、出席者の制限や開催時間の短縮等、ご不満や意に沿わないところがあるかと存じますが、ご容赦いただきますように、高いところからではございますがお願い申し上げます。また、本式にみなさまのご臨席を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。今、こうして卒業生五七名に卒業証書を授与できましたことに何より安堵を感じますとともに、卒業生のみなさん、保護者のみなさまに心よりお慶び申し上げます。まことにおめでとうございます。

さて、卒業生のみなさん、江津高校での三年間はいかがでしたでしょうか。特に最終学年のこの一年間はコロナウィルス感染症の広がりによって、社会の状況が刻々と変化し、不安や心配、あるいは不満や失望といった、ストレスの連続であったと思います。高校総体や夏の野球選手権大会が中止となり、文化部の各種コンクールも中止やオンラインなどでの制限開催となりました。そうした中であっても、みなさんは、自分のできること、自分たちでできることを考え、協力して部活動や勉学に取り組みを続けました。私はみなさんに「投げ出さず、よく今日まで頑張ってきましたね」と拍手を送りたい気持ちです。

ただ、今年度のように「例年どおりとはいかない」状況がみなさんに「考える」というチャンスを与えたこともまた事実であると言えます。今年度の学園祭は、観客の制限、時間の短縮、感染防止対策など、準備は大変でしたが、合唱に代えて動画制作という新しい企画、体育祭での無言応援などの工夫によって、みなさんは団結と感動の思い出を「逃さず」つかみ取ることができました。「自分たちが欲しいものは何か、どういうものを自分たちが必要としているのか」、「考える」とは真に「自分ごとにする」ことに他なりません。このコロナ禍はみなさんの主体性を喚起する背景になったとは言いすぎでしょうか。

現在の社会は感染防止と経済再建をどう進めるか、どうバランスをとるかといった難題に誰もが頭を抱えています。これまでどおりのシステムでは対応できません。さらに、自由競争の経済原理に基づいた開発モデルの追求とグローバル化を背景に、貧困・飢餓の発生や経済格差の拡大、気候変動を背景に頻発する大規模な自然災害など、世界は多くの実害を目の当たりにしています。六年前に国連総会で採択された十七項目のSDGsすなわち「持続可能な開発目標」の実現への取り組みも待ったなしの状況を迎えました。九年後の二〇三〇年までにいくつかの目標を実現しておかなければ、若いみなさんはもちろん、私を含めて高齢者の生命も脅かされる未来を迎えてしまいます。まさに、世界は今、未来の明暗を決定する分岐点を迎えているのです。

みなさんは、一年生の時に出席した本校創立六〇周年記念式典で、前宮島校長先生が哲学者の山本空外先生のお話をされたのを覚えているでしょうか。六三年前の本校創立の記念に、その空外先生が本校初代校長の目次良雄先生に一つの書を寄贈されました。その扁額には「暖かい風のお陰で、お茶の木は、知らないうちに珠のような美しい蕾をつける」という意味の漢詩が揮毫されています。この額は今も学校の職員室に大切に飾られています。「人もいろいろな事をなすが、成功したからといって自分一人の手柄と思っただけはいけません。すべて仁風（これは先ほどの暖かい風）、すなわち大自然の力、多くの人々、親兄弟をはじめ自分をとりまくすべてのもののおかげであることを自覚して生きぬくよう空外先生はお話になった」と目次校長先生が記録していることをみなさんに伝えられたと思います。

この空外先生の書や初代校長先生のお話をあらためて思い返すとき、私たちのこれまでの生き方は正しかったのでしょうか。「大自然の力、多くの人々、親兄弟をはじめ自分をとりまくすべてのもののおかげであることを自覚して生き」てきたのでしょうか。今、未来への分岐点に立つ私たちにはこの本校建学

の精神を学びなおす必要があるのではないのでしょうか。そして、「知らないうちに」恩恵を受けていた「すべてのもの」に目を向けて大切にし、「知らないうちに」奪い取り、傷つけていたものを守る行動に出る必要に迫られているのではないのでしょうか。

みなさんは本校で三年間、KAWARAプロジェクトをはじめとする、地域や社会との協働のあり方を実践的に学んできました。みなさんにはその行動に向かう素養が身についています。どういう取り組みが持続可能なのか、目標実現に何が必要か、自分事として主体的に考え、勇気をもって行動してもらいたいと思います。そして、卒業する仲間とともに、家族や地域の方々とともに、明るい未来を元気に生き抜いていただきたいと願っています。

最後になりましたが、保護者のみなさまに、これまでの本校へのご支援とご協力にお礼申し上げますとともに、今後のみなさまのご健勝とお子様のご活躍を祈念し、式辞といたします。

令和三年三月二日

島根県立江津高等学校 校長 江川数司